

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/学部	第1学年/昼
科目名	からだの仕組み I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1柔整普通教室
教員名	山本 章人		講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、人体組織の基礎解剖を理解することを目的とする。 運動器(上下肢、体幹部)の代表的な骨の名称と形状、筋の名称と形状、起始停止を覚える。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	人体の区分(解剖学を学びはじめるにあたり)	
2	1	2	身体的位置・断面(上下左右、内側外側、近位遠位、深部浅部、橈側尺側、掌側腹側背側、前額面、矢状面、水平面)	
3	1	2	全身の骨格①(骨格系総論)	
4	1	2	全身の骨格②(関節の分類)	
5	1	2	全身の骨格③(上肢の骨)	
6	1	2	全身の骨格④(体幹の骨)	
7	1	2	全身の骨格④(下肢の骨)	
8	1	2	上肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 1	
9	1	2	上肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 2	
10	1	2	上肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 3	
11	1	2	下肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 1	
12	1	2	下肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 2	
13	1	2	下肢の代表的な筋の名称、形状、起始停止 3	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料配布				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
資料配布				
教員について【実務経験有】				
高等学校保健体育科教員資格の他、柔道整復師資格、スポーツトレーナーとしての資格を有し、整形外科ではリハビリテーションを担当、他整骨院での実務経験やスポーツトレーナーとしての勤務経験を通して現場で得たものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/学部	第1学年/昼
科目名	からだの仕組みⅡ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1柔整普通教室
教員名	山本 章人		講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、人体組織の基礎生理学を理解することを目的とする。 人体の基本的な生理学的仕組みの知識を身につけ、医学を学ぶ者としての土台作りをする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	生理学とは introduction (系統・器官・組織・細胞)	
2	1	2	筋の生理 骨格筋・心筋・平滑筋の構造	
3	1	2	筋の生理 骨格筋の収縮と弛緩	
4	1	2	運動の生理 運動の調節～運動神経と運動単位	
5	1	2	運動の生理 脊髄による反射とその調節～脳幹による運動調節	
6	1	2	神経の生理 神経信号の伝達	
7	1	2	神経の生理 神経系の構成～脳の高次機能	
8	1	2	運動の生理 高次運動機能	
9	1	2	神経の生理 内臓機能の調節	
10	1	2	感覚の生理 特殊感覚	
11	1	2	感覚の生理 体性感覚	
12	1	2	感覚の生理 痛覚	
13	1	2	からだの仕組みⅡ のまとめ	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料配布				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
資料配布				
教員について【実務経験有】				
高等学校保健体育科教員資格の他、柔道整復師資格、スポーツトレーナーとしての資格を有し、整形外科ではリハビリテーションを担当、他整骨院での実務経験やスポーツトレーナーとしての勤務経験を通して現場で得たものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/学部	第1学年/昼
科目名	からだの仕組みⅢ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1柔整普通教室
教員名	今井 公一		講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人になるための基礎知識として、身体の運動の仕方を理解することを目的とする。 四肢と体幹の運動、姿勢、歩行の基礎的な仕組みを身につけ、医学を学ぶ者としての土台作りをする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	人体の仕組み	
2	1	2	関節について	
3	1	2	筋肉について	
4	1	2	上肢帯、肩関節の運動	
5	1	2	肘関節と前腕の運動	
6	1	2	手関節と手の運動	
7	1	2	股関節、膝関節の運動	
8	1	2	足関節と足部の運動	
9	1	2	体幹と脊柱、頸椎の運動	
10	1	2	胸椎と胸郭、腰椎と仙椎および骨盤の運動	
11	1	2	顔面および頭部の運動	
12	1	2	姿勢について	
13	1	2	歩行について	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料配布				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
資料配布				
教員について【実務経験有】				
中高保健体育教諭資格を有し、パーソナルトレーナーとしての勤務経験を通して現場で得たものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分	基礎分野		履修学年/学部	第1学年/昼
科目名	スポーツ科学 I		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	高校教諭		使用教室	第1柔整普通教室
教員名	山本 章人		講義形式	講義
学習目標と講義概要	柔道整復師およびスポーツトレーナーになるための土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。体力の概念、運動器(骨・筋)、運動力学、運動生理学など、主に理論の部分での理解を深める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	・機能解剖 上肢 (骨・関節・筋)	
2	1	2	・機能解剖 脊柱と胸郭 (脊柱の基本構造・骨・関節・筋・ローカル筋とグローバル筋)	
3	1	2	・機能解剖 下肢 (自由下肢と骨盤の骨・股関節の骨格と運動)	
4	1	2	・機能解剖 下肢 (膝関節の骨格と運動)	
5	1	2	・機能解剖 下肢 (足と足関節の骨格と運動・足関節をまたぐ筋)	
6	1	2	・バイオメカニクスの基礎理論 (運動の記述・力学の基礎)	
7	1	2	・バイオメカニクスの基礎理論 (運動の記述・力学の基礎・てこの種類)	
8	1	2	・スポーツおよびトレーニング動作のバイオメカニクス (歩・走・跳躍・投・打・蹴)	
9	1	2	・運動生理学 (呼吸循環系の基礎的情報)	
10	1	2	・運動生理学 (運動と呼吸循環系・トレーニングと呼吸循環系)	
11	1	2	・運動生理学 (エネルギー代謝の基礎的情報・運動とエネルギー代謝・トレーニングとエネルギー代謝)	
12	1	2	・運動生理学 (筋力発揮のメカニズム筋神経系に対するトレーニング効果)	
13	1	2	・運動生理学 (身体機能へのホルモン作用・筋肥大におけるホルモンの役割・レジスタンストレーニングとホルモン分泌)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料配布				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況 (3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
・トレーニング指導者テキスト[理論編]: 大修館書店 ・トレーニング指導者テキスト[実践編]: 大修館書店				
教員について【実務経験有】				
高等学校保健体育科教員資格の他、柔道整復師資格、スポーツトレーナーとしての資格を有し、整形外科ではリハビリテーションを担当、他整骨院での実務経験やスポーツトレーナーとしての勤務経験を通して現場で得たものを活かし授業を進める。				

2025年度 授業要項

区分		基礎分野		履修学年/学部	第1学年/昼
科目名		スポーツ科学Ⅱ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格		高校教諭		使用教室	第1柔整普通教室
教員名		山本 章人		講義形式	講義
学習目標と講義概要		柔道整復師およびスポーツトレーナーになるための土台として一般的な基礎知識を身につけることを目的とする。運動における栄養、心理、基礎医学と運動指導の科学を身につけ理論の部分での理解をさらに深める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	運動と栄養 (5大栄養素・標準的な栄養のガイドライン・エネルギー消費量の構成要素)		
2	1	2	運動と栄養 (水分摂取のガイドライン・サプリメント)		
3	1	2	運動と栄養 (対象と目的に応じた栄養摂取・アスリート・トレーニングスケジュール・減量・増量)		
4	1	2	運動と栄養 (女性・子ども・高齢者に対する配慮・摂食障害・貧血)		
5	1	2	運動と医学 (生活習慣病について)		
6	1	2	運動と医学 (スポーツ傷害総論・スポーツ傷害とその予防)		
7	1	2	運動と医学 (スポーツ傷害とその予防)		
8	1	2	運動と医学 (救命救急法・外傷の救急対応～皮膚に傷のないケガ、皮膚に傷のあるケガ)		
9	1	2	運動と医学 (救命救急法・一次救命処置・頭頸部外傷への対応・熱中症への対応)		
10	1	2	運動と心理 (運動と心理の基礎理論)		
11	1	2	運動と心理 (運動学習と指導法)		
12	1	2	体力トレーニング総論 (体力の概念・防衛体力と行動体力・スポーツパフォーマンスと体力・健康及び日常生活動作の質と体力)		
13	1	2	体力トレーニング総論 (体力の要素と体力モデル・体力の個人特性・一般的体力と専門的体力)		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料配布					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
・トレーニング指導者テキスト[理論編]:大修館書店 ・トレーニング指導者テキスト[実践編]:大修館書店					
教員について【実務経験有】					
高等学校保健体育科教員資格の他、柔道整復師資格、スポーツトレーナーとしての資格を有し、整形外科ではリハビリテーションを担当、他整骨院での実務経験やスポーツトレーナーとしての勤務経験を通して現場で得たものを活かし授業を進める。					